



誰もがハザードマップを理解し、避難に活用できるようにするための取組を進めます
～ハザードマップのユニバーサルデザイン化～

ハザードマップのユニバーサルデザイン化について検討してきた結果を踏まえ、あらゆる人が災害リスク情報を把握して、避難に活用できるようにするための取組を進めます。

ハザードマップについては、地図情報だけでは視覚障害者には伝わらないといった課題があるため、国土交通省では、有識者や視覚障害者で構成される「ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会」を設置し、「わかる・伝わる」ハザードマップのあり方について検討を進めてきました。

この検討結果を踏まえ、あらゆる人が災害リスク情報を利用し、避難に活用できるようにするための取組を進めていきます。

その取組の一つとして、国土交通省のWebサイト上で、様々な災害リスク情報を地図上に重ねて表示することができる「重ねるハザードマップ」を改良し、知りたい地点の自然災害の危険性や取るべき行動などを簡単な文章で表示する機能を、今年の出水期までに追加します。これにより、音声読み上げソフトを利用すれば視覚障害者にも理解が可能となります。

- ・「ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会」の資料、議事、報告書については、以下を参照ください。

https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/universal_design/index.html

【問合せ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

課長補佐 谷口（内線：35454）、係長 大西（内線：35459）

代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8460

「重ねるハザードマップ」のユニバーサルデザイン化

- 目の不自由な方でも、音声読み上げソフトを利用することで自宅等の災害リスクを知ることができるように「重ねるハザードマップ」を改良。
- アイコンや地図上をクリックしなくても住所を入力する、または現在地を検索するだけで、その地点の自然災害の危険性が自動的に文章で表示される機能を追加。
- 令和5年出水期までの実装を目指す。

【トップページ変更内容】

- ・ 読み上げ機能への対応を意識したシンプルな構造
- ・ テキスト情報だけで構成や内容が把握できるよう工夫
- ・ 多くの人に理解できるよう、平易な言葉遣いを使用
- ・ 画像ファイルには代替テキストを表示

- ・ 災害時にとるべき行動(立退き避難、屋内安全確保)がすぐに分かるようコメント背景を色分けして表示

Webアクセシビリティの改良イメージ

ハザードマップポータルサイトの身まわりの災害リスクを調べる

身まわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す 現在地から探す

地図から探す

地図を見る

災害の種類から選ぶ

洪水・内水 土砂災害 高潮 津波

この内容で閲覧

地域ハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

重要な情報にスムーズにアクセスできるようレイアウト変更

住所入力の他、現在地検索により地図画面に移動し、自然災害の危険性を表示

PC版サイトイメージ

岩手県釜石市中妻町

この場所では、最悪の場合、洪水による浸水が発生して、その深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。これは床上浸水に相当する深さです。水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に避難することが必要です。浸水が解消するまで我慢でき、水や食料などの備えが十分であれば、2階以上の屋内で安全を確保することも可能です。避難場所や避難経路などについては、お住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

この場所では、最悪の場合、津波による浸水が発生して、その深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。津波発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ直ちに立退き避難することが必要です。避難場所や避難経路については、お住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

釜石市のハザードマップを見る